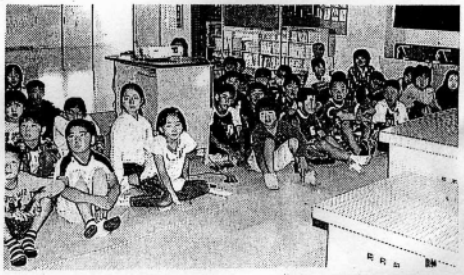
西袋二小で携帯電話学習会開く

西袋二小（吾妻敦校長）は同校で携帯電話など情報モラルの理解を深める学習会を開いた。

西袋地区では小・中学校、保護者、公民館、明るいまちづくりの会西袋地区会が連携して、六月にメディアコントロール推進大会を開催し、テレビや携帯電話など上手なメディアとの関わり方に対する意識の高揚に地域全体で取り組んできたもので、学習会はその運動の一環として実施された。

四年生から六年生まで児童四十三人が参加、ＮＴＴドコモ東北支社の職員二人を講師に、「ケータイ安全教室」が開かれ、携帯電話の正しいルールやマナーなど利用の仕方について映像を交えながら説明を受けた。講師からは「毎月使う携帯電話の料金など家族と決めたルールを守ろう」「知らない番号の電話に出ない、かけないおさない」「危ないサイトにアクセスしない」などアドバイスが行われ、児童は熱心に話に耳を傾け正しい携帯電話とのつきあい方について学んでいた。（学習会）